

令和7年度短期大学部（船橋校舎）における教育活動に関する  
外部評価の実施について

このたび、日本大学短期大学部（船橋校舎）では、教育活動に関する取り組みについて企業の方に評価していただく外部評価を実施いたしました。

今回実施した外部評価の結果（評価票）につきましては、次ページ「令和7年度短期大学部（船橋校舎）における教育活動に関する外部評価実施要項」の後に「教育・学習」、「学生の受け入れ」の順でございますので御覧ください。

なお、評価結果につきましては、真摯に受け止め、今後改善策等を検討して改善に努めてまいります。

以 上

2026年3月30日

日本大学短期大学部（船橋校舎）

# 令和7年度 短期大学部（船橋校舎）における教育活動に関する外部評価実施要項

短期大学部（船橋校舎）内部質保証推進委員会

短期大学部（船橋校舎）自己点検・評価委員会

## 1 目的

卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）、入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）の3つのポリシー及びこれらに対する取り組みの適切性・妥当性等に対する外部評価を定期的に行い、短期大学部（船橋校舎）における教育活動のPDCAサイクルを確立し、教育の質保証及び向上に資することを目的として行う。

## 2 評価項目・評価事項

### ① 教育・学習（ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー）

- (1) 達成すべき学習成果を明確にし、教育・学習の基本的な在り方を示しているか。
- (2) 学習成果の達成につながるよう各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。
- (3) 課程修了時に求められる学習成果の達成のために適切な授業形態、方法をとっているか。また、学生が学習を意欲的かつ効果的に進めるための指導や支援を十分に行っているか。
- (4) 成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。
- (5) 卒業の認定に関する方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。
- (6) 教育課程及びその内容、教育方法について定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいるか。

### ② 学生の受け入れ（アドミッション・ポリシー）

- (1) 入学者の受入れに関する方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公平、公正に実施しているか。
- (2) 適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。
- (3) 学生の受け入れに関わる状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいるか。

※評価項目・評価事項は、公益財団法人大学基準協会における評価項目によるものとする。

## 3 評価方法

- ① 評価者による外部評価は、本部大学評価室からの依頼に基づき作成した令和6年度全学自己点検・評価報告書に最新情報を追記の上、短期大学部（船橋校舎）教職員等との面談（協議会の開催）及び書面評価により行う。
- ② 評価者は、外部評価の結果、優れている点や改善を必要とする点等を評価結果としてまとめるとともに、外部評価項目の取組評価を4段階で評価する。

(A：十分できている，B：おおむねできている，C：一部改善が必要，D：できていない)

#### 4 外部評価者

川崎 淳志 (かわさき あつし)

ミサワホーム株式会社 商品・技術開発本部 技術部構造技術課

#### 5 実施スケジュール

##### ① 令和8年1月下旬 書面評価

自己点検・評価報告書を作成後，外部評価者へ書類送付により評価を依頼する。

##### ② 令和8年2月中旬～下旬 協議会開催 (対面にて実施予定)

概要・現況説明 (前回指摘を受けた事項についての改善進捗状況含む) を行う。

#### 6 協議会開催日時・場所・出席者

##### ① 日 時 令和8年2月19日 (木) 午後3時

※外部評価者の点検・評価の進捗状況に応じて日程調整を行う。

##### ② 場 所 日本大学理工学部船橋校舎

##### ③ 出席者

- (1) 外部評価者
- (2) 短期大学部 (船橋校舎) 次長
- (3) 短期大学部 (船橋校舎) 自己点検・評価委員長
- (4) 短期大学部 (船橋校舎) 学務委員長
- (5) 短期大学部 (船橋校舎) 入学試験実行委員長
- (6) 学科長・主任
- (7) (船)庶務課長
- (8) (船)教務課長
- (9) 自己点検・評価委員長が必要と認める者

#### 7 評価結果

① 令和8年2月下旬～3月初旬までに，外部評価者から評価結果を提出してもらう。

② 令和8年3月初旬，評価結果を短期大学部 (船橋校舎) 内部質保証推進委員会及び同自己点検・評価委員会において報告を行い，評価結果を踏まえて，次年度以降の教育の質改善に向けた対応を行う。

③ 令和8年3月末，短期大学部 (船橋校舎) ホームページにおいて外部評価の結果を公表する。

#### 8 所管課

(船) 庶務課

以 上

令和7年度 短期大学部（船橋校舎）における教育活動に関する外部評価  
評 価 票

■教育・学習

|   | 点検・評価項目  | ABCD評価(※) |
|---|--|-----------|
| ① | 達成すべき学習成果を明確にし、教育・学習の基本的な在り方を示しているか。   | A         |
| ② | 学習成果の達成につながるよう各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。                              | A         |
| ③ | 課程修了時に求められる学習成果の達成のために適切な授業形態、方法をとっているか。また、学生が学習を意欲的かつ効果的に進めるための指導や支援を十分に行っているか。 | A         |
| ④ | 成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。   | A         |
| ⑤ | 卒業の認定に関する方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。  | B         |
| ⑥ | 教育課程及びその内容、教育方法について定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいるか。                                 | B         |

※ A：十分できている， B：概ねできている， C：一部改善が必要， D：できていない

|  |
|--|
| ⑦評価できる点（伸長すべき点，取組が効果を上げている事項など）  |
| <p>短期大学部（船橋校舎）では、学生一人ひとりの学習状況に合わせてクラス分けを行い、多様な学生に配慮した授業運営を実施しています。また、グループ担任制度を導入し、専攻分野などを考慮して教員が少人数の学生を担当することで、きめ細やかな指導を行っています。さらに、授業外の学習支援として「パワーアップセンター（PUC）」を設置し、英語・数学・物理・化学が苦手な学生に対して、無料で基礎講座や個別指導を提供しています。これらの取り組みは、学生の学びをしっかりとサポートする体制として高く評価できます。</p> |

|   |
|---|
| ⑧問題点・今後の課題（改善すべき点，強化が望まれる事項など）  |
| <p>ルーブリックは、学生の成長を促進し、教育の質向上に不可欠です。「科目ルーブリック」の整備を早急に進める必要があります。また、令和6年度の編入学者に2年次編入となる学生が数名見受けられます。2年次編入を発生させないための取組みも重要な課題と考えます。</p> |

|      | ⑨報告書の記載内容に対する評価，コメント   | ABCD評価(※) |
|------|--|-----------|
|      | (1)点検・評価項目ごとに現状を記載しているか。その内容は具体的か。   | A         |
|      | (2)記述内容は適格かつ簡潔に記載されているか。冗長な文章となっていないか。   | A         |
|      | (3)誤字や脱字，わかりにくい表現はないか。   | A         |
| コメント | ⑦の補足<br>短期大学部の大きな特色である「卒業研究」は、学生が自分の将来やりたいことを整理する良い機会となっています。特に、4年制大学への編入を目指す学生にとっては、卒業研究の経験が就職活動でも大きな強みとなります。 |           |

※ A：十分できている， B：概ねできている， C：一部改善が必要， D：できていない

外部評価者氏名 川崎 淳志

令和7年度 短期大学部（船橋校舎）における教育活動に関する外部評価  
評 価 票

■学生の受け入れ

|   | 点検・評価項目  | ABCD評価(※) |
|---|--|-----------|
| ① | 入学者の受け入れに関する方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公平、公正に実施しているか。 | A         |
| ② | 適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。                 | C         |
| ③ | 学生の受け入れに関わる状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいるか。                        | B         |

※ A：十分できている，B：概ねできている，C：一部改善が必要，D：できていない

|   |
|---|
| ④評価できる点（伸ばすべき点，取組が効果を上げている事項など）   |
| <p>特別な配慮が必要な志願者には、入学試験における事前相談や受験上の配慮についての取り決めを設けて、適切に対応できる体制を整えています。また、入学試験の問題や解答、出題の意図、合否判定の方法や基準をホームページで公開し、選抜の透明性をしっかり確保している点が評価できます。</p> |

|  |
|--|
| ⑤問題点・今後の課題（改善すべき点，強化が望まれる事項など）   |
| <p>短期大学部（船橋校舎）では、高等学校への訪問やパンフレットの送付、オープンキャンパスなどの広報活動を強化し、定員を満たすために積極的に取り組んでいます。また、入学者選抜制度の見直しも進めていますが、依然として収容定員の充足率は低下傾向にあります。</p> <p>今後は、短期大学部ならではの個性や強み（セールスポイント）をより明確にし、「どのような学びができるのか」「どんな力が身につくのか」といった具体的な内容を、受験生や保護者に分かりやすく伝える情報発信がますます重要になります。また、社会人のリスキリング需要の高まりを踏まえ、社会人学生の受け入れに向けた広報活動も積極的に行う必要があります。</p> |

| ⑥報告書の記載内容に対する評価，コメント                   |   | ABCD評価(※) |
|--|---|-----------|
| (1)点検・評価項目ごとに現状を記載しているか。その内容は具体的か。     |   | A         |
| (2)記述内容は適格かつ簡潔に記載されているか。冗長な文章となっていないか。 |   | A         |
| (3)誤字や脱字，わかりにくい表現はないか。                 |   | A         |
| コメント                                   | ⑤の補足<br>企業は、入学時の「入口」よりも、卒業時の「出口」、すなわち卒業生がどのような知識や能力を身につけているかを重視しています。そのため、短期大学部としては、4年制大学へ編入した学生が、さらに成長し、社会でどのように活躍できる人材となったかを企業にしっかりとアピールする「出口戦略」が、今後ますます重要になると考えます。 |           |

※ A：十分できている，B：概ねできている，C：一部改善が必要，D：できていない

外部評価者氏名 川崎 淳志